



総合政策科学研究科
グローバル**政**策学
プログラム

富樫 耕介

ktogashi@mail.doshisha.ac.jp



プログラム設置の背景



グローバル化によって国内・国際をまたぐ複合的問題の出現

世界的にヒト・モノ・カネ・情報が国境を越え、地球規模で相互依存関係が深化。それまで国内・国際と区別されてきた問題もボーダレス化が進み、一国単位での取り組みは限界を迎えている。これによって、国際社会は様々な政策的課題に直面。



政策学によるグローバルな問題への取り組みの必要性

国際社会が直面している多層的・複合的な問題群の解決には、これまで以上に学際的なアプローチが求められている。政策学は、政治・行政、経済、法、組織など複数の学問領域を融合。現実に存在する問題の解決に取り組むという強みを有している。

政策学のプロフェSSIONナルズ(専門家)のいる総合政策科学研究科がグローバル政策学プログラムを設置することの意義

総政だからできる、総政でしかできない、グローバルな問題へのアプローチと政策的研究へ

プログラムの目的と成り立ち



プログラムの目的

受講生にグローバルな問題を理解し、その改善のための学術的研究を深めるために基盤的ディシプリンと応用アプローチを修得させること

基盤的ディシプリン

比較政治学, 国際政治学, 国際社会学, グローバル経済学, 国際金融経済学, 国際開発学

応用アプローチ

国際援助政策論, 外交政策論, 国際地域統合論, エリア・スタディーズ, グローバル・ガバナンス論

国際社会が直面する困難な政策的課題へ取り組もうとする人材育成のために大学院履修プログラム



同志社大学大学院

総合政策科学研究科

本プログラムは、同志社大学地域紛争研究センター（中核的研究拠点）と連携する。プログラムの受講生は、同センターが開催する院生報告会（仮称）などでの報告機会が得られ、学内外の専門家から研究内容を発展させる助言や指導を得ることもできる。

 同志社大学 地域紛争研究センター
Doshisha University Regional Conflicts Research Center

プログラムの科目体系

1	比較政治学研究	1or2科目必修	5科目必修 (10単位)
2	国際政治学研究		
3	国際社会論研究		
4	国際援助政策論研究	2科目必修	
5	外交政策論研究		
6	国際地域統合論研究		
7	エリア・スタディーズ研究	1or2科目必修	
8	グローバル・ガバナンス論研究		
9	国際法研究		
10	グローバル経済論研究	1or2科目必修	
11	国際開発論研究		
12	国際開発金融論研究		

履修モデル	
(1)経済・開発系受講生	合計
10-12から2科目を選択必修	5科目必修 (10単位)
4-9から2科目を選択必修	
1-3から1科目を選択必修	
(2)政治系受講生	合計
1-3から2科目を選択必修	5科目必修 (10単位)
4-9から2科目を選択必修	
10-12から1科目を選択必修	

グローバル政治系科目群，グローバル経済系科目群，グローバル・イシュー系科目群の3つの科目群があり，それぞれ3科目，3科目，6科目，計12科目から構成される。プログラム受講に際し，申請者はグローバル政治系，グローバル経済系（主専攻科目群）いずれに軸足を置き学ぶのか選択する。グローバル政治系を主専攻科目群とした場合，そこから2科目，グローバル経済系科目群から1科目，グローバル・イシュー系科目群から2科目受講する。以上5科目10単位を必修とする。

科目提供教員：プロフェSSIONナルズ

■ グローバル政治系科目群



月村太郎 教授

研究テーマ：民族紛争の比較／バルカン地域の政治変動
研究内容

前者のテーマについては、旧ソ連・東欧（例えば、南コーカサス、沿ドニエストル）、アジア・アフリカ（例えば、スリランカ、ルワンダ）、更にはキプロスや北アイルランドなどの事例を題材として選び、民族紛争に共通の構図を導出することを目的としている。



吉田徹 教授

研究テーマ
比較政治学／ヨーロッパ政治（史）
研究内容

比較政治学における分析概念・理論を用いながら、現代ヨーロッパの政治発展、特に政党システムの変化について研究を進めています。



科目提供教員：プロフェSSIONナルズ

■ グローバル政治系科目群



富樫耕介 准教授

研究テーマ

冷戦後の内戦に関する研究、旧ソ連地域研究（コーカサス）

研究内容

主に旧ソ連地域の紛争を比較や理論的手法を用いて研究を行っている。冷戦終結後の内戦、特に分離主義紛争のメカニズムとダイナミクスを解明する研究に取り組んでおり、紛争の激化や鎮静化に果たす外部関与の役割なども研究している。



■ グローバル・イシュー科目群



山谷清志 教授

研究テーマ

公共部門における政策評価とアカウンタビリティ

研究内容

さまざまな政策領域における評価と、この評価によって追及するアカウンタビリティとの関係を考える。ジェンダー、科学技術、外交（とくにODA）、地域振興、福祉、医療、独立行政法人制度などが主な関心事である。



科目提供教員：プロフェSSIONナルズ

■ グローバル経済系科目群



岡本由美子 教授

研究テーマ

ジェンダー視点が拓くフェアトレードの可能性と未来

研究内容

現在、ジェンダー別にフェアトレードの効果分析を行いながら、ジェンダー平等と貧困削減に資するフェアトレードのあり方を模索する研究を行っている。



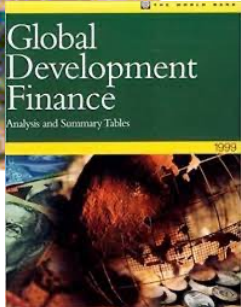
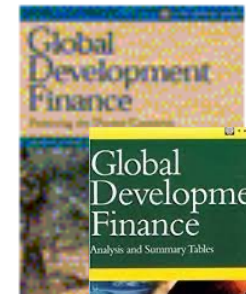
根岸祥子 准教授

研究テーマ

先進国・新興市場国と開発金融に関する研究

研究内容

国際資本取引が多様化・複雑化する中で、新興国や途上国の金融市場発展にとってどのような資本が有益か、先進国や国際金融機関が国際金融システムの安定化にどのような役割を果たすかについての実証的研究をしている。



科目提供教員：プロフェSSIONナルズ

■ グローバル経済系科目群



新見陽子 教授

研究テーマ

貧困・格差・高齢化問題に関する実証分析

研究内容

貧困問題を中心に、人々のウェルビーイングや行動に関する実証分析を行っている。最近では、日本のみならず他のアジア諸国でも急速に進む高齢化に加え、格差や世代間移動（intergenerational mobility）などに関する研究も行っている。



■ その他の教員

他にも実務や研究の実績豊富な教員が以下のような科目を提供します。

- 外交政策論研究
- 国際地域統合論研究
- エリア・スタディーズ研究
- グローバル・ガバナンス論研究
- 国際法研究

プログラムについてのまとめ

■ 修了後のキャリア



プログラムを通じた学びを研究を生かし、それぞれが自らの望むキャリアを開拓していくことを期待しています。具体的には、博士課程進学、地方・国家公務員・民間企業就職に加え、JICAや外務省などの任期付き専門職を経てキャリアアップをするなど多様なキャリア形成をしていくことが考えられます。

■ 求めるプログラム生像

政策を学びつつ、国際社会に目を向けている学生、あるいは国際社会の政策的課題の改善について関心のある学生、または地方自治体や国の国際部局職員、シンクタンクやNGO、メディア関係者など国際的な教養とその政策的対応について知見を深めたい社会人、JICAの青年海外協力隊や外務省派遣員・専門調査員などのキャリアアップのための学問的基盤形成を望む方などが考えられます。

